

進行性多巣性白質脳症（PML）

英語名：progressive multifocal leukoencephalopathy



A. 患者の皆様へ

ここでご紹介している副作用は、まれなもので、必ずしも起こるものではありません。ただ、副作用は気づかずに放置していると重くなり健康に影響を及ぼすことがあるので、早めに「気づいて」対処することが大切です。そこで、より安全な治療を行う上でも、本マニュアルを参考に、患者さんご自身、またはご家族に副作用の黄色信号として「副作用の初期症状」があることを知っていただき、気づいたら医師あるいは薬剤師に連絡してください。

「進行性多巣性白質脳症」は、JC ウイルスによって引き起こされる脳の感染症です。通常は発症しませんが、免疫が低下した状態の場合、まれに発症することがあります。HIV 感染症、血液のがん、膠原病や神経疾患などの治療のために用いる、免疫を下げる、ないし免疫を調整する医薬品によって引き起こされる場合もあります。次のような症状がみられた場合には、医師・薬剤師に連絡してください。

「物忘れ」、「歩行時のふらつき」、「手足に力が入りにくい」、「口のもつれ」、「動作緩慢(かんまん)」などの症状

1. 進行性多巣性白質脳症とは？

進行性多巣性白質脳症（PML）は、JC ウイルスによって引き起こされる主に脳の感染症です。

JC ウイルスは、ポリオーマウイルスに属する DNA ウイルスで、このウイルスが初めて分離された患者のイニシャルから JC と命名されました。幼少時に症状が無く感染し、多くの方が体内（主に腎臓）に持っています（成人の 60～80%程度）が、実際にこのウイルスが感染症を引き起こすことはほとんどありません（最近の日本での発生頻度は 0.9 人/1000 万人）。ところが、主に免疫が低下した病気ないし状態の方の場合、PML が発症することがあります。最近、様々な免疫に関係する薬が開発され、その一部に PML を発症させてしまう薬があることがわかってきました。PML は根本的な治療法がないため、一旦発症してしまうと、命に関わることが多いです。一方、早めに PML に気づくことで、病状の進行を抑えたり、少し良くさせたりすることができる可能性があります。

2. 進行性多巣性白質脳症を引き起こす可能性のある薬剤は？

免疫抑制薬や悪性腫瘍に対する薬剤、さらに多発性硬化症の薬で PML を発症することが報告されています。PML を発症する薬剤は多岐にわたります。ただし、薬剤によりそのリスクは異なります。なかには治療対象となっている疾患そのものが PML のリスクとなっており、薬剤がどの程度 PML 発症に関与したのかははっきりしない薬剤もあります。薬剤の詳細は、本マニュアルの「B. 医療関係者の皆様へ」の表 1 をご参照ください。

3. 進行性多巣性白質脳症の初期症状

様々な症状が報告されていますが、多いのは、認知機能の低下、しゃべりづらさ、言葉が出ない、手足の麻痺などです。その他、性格変化や異常行動などの精神症状や感覚障害を認めることもあります。これらの症状は週単位で進行し、数ヶ月で寝たきりの状態になることが多いです。

4. 早期発見と早期対応のポイント

PML の症状が出現する前から、脳 MRI では PML の所見が出現することが

報告されています。そのために、特に PML を発症するリスクの高い薬剤を使用している場合には、定期的な脳 MRI の検査が勧められています。MRI で PML が疑われる所見を認めた場合には、早急に診断（主に髄液検査、場合によっては脳生検）を行うことが重要です。PML が疑われる、もしくは PML と診断された場合には、発症に関与していると考えられる薬剤の中止を検討します。他の疾患で使用される薬剤が PML に効果があったという症例報告がいくつかありますが、PML に対して承認されている薬剤・治療法はありません。

※ 医薬品の販売名、添付文書の内容等を知りたい時は、このホームページにリンクしている独立行政法人医薬品医療機器総合機構の「医療用医薬品 情報検索」から確認することができます。

<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>

※ 独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく公的制度として、医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用により入院治療が必要な程度の疾病等の健康被害について、医療費、医療手当、障害年金、遺族年金などの救済給付が行われる医薬品副作用被害救済制度があります。

（お問い合わせ先）

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 救済制度相談窓口

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

電話：0120-149-931（フリーダイヤル）[月～金] 9時～17時（祝日・年末年始を除く）